

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

総括表

氏 名	明治 大正 昭和 平成 令和	年 月 日生（ ）歳	男 女
住 所			
① 障害名（部位を明記）			
② 原因となった 疾病・外傷名		交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災 自然災害、疾病、先天性、その他（ ）	
③ 疾病、外傷発生年月日 年 月 日・場所			
④ 参考となる経過及び現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）			
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日			
⑤ 総合所見			
〔軽減化による再認定 要 ・ 不要〕 〔再認定の時期 年 月〕			
⑥ その他参考となる合併症状			
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付します。 年 月 日 病院又は診療所の名称 電 話（ ） 所 在 地 診療担当科名 科 医師氏名 ㊦			
身体障害者福祉法第15条第3項の意見（障害程度等級についても参考意見を記入のこと。） 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する（ ）級相当 ・該当しない ※「該当する」「該当しない」の選択及び意見等級は、必ず記載してください。			
注 1 障害名には、現在起こっている障害、例えば両眼失明、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、角膜混濁、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。 2 総合所見には、将来の障害の軽減化による再認定の必要性及び再認定を行うべき時期を必ず記入してください。 3 障害区分や等級決定のため、改めて身体障害者診断書・意見書の記述についてお問い合わせする場合があります。 4 程度変更に伴う再申請については、新しく追加となる障害内容の記載のみではなく、現在の手帳の障害内容についても障害が存在していれば、併せて診断書に記載してください。			

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲むこと。)

1 身体計測

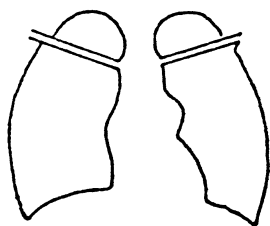
身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。
- イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
- ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることもある。
- エ 平坦な道を約 100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
- オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

- ア 胸膜癒着 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- イ 気腫化 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- ウ 線維化 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- エ 不透明肺 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- オ 胸郭変形 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- カ 心・縦隔の変形 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)



4 換気機能 (年 月 日)

測定困難な場合はその理由

- ア 予測肺活量 □.□□ L (実測肺活量 □.□□ L)
- イ 1秒量 □.□□ L (実測努力肺活量 □.□□ L)
- ウ 予測肺活量1秒率 □□.□ % ($=\frac{イ}{ア} \times 100$)

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性 18 - 91 歳、女性 18 - 95 歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス (年 月 日)

注) 安静時、通常の室内空気吸入時のものとする。

- ア O₂分圧 □□□.□ Torr
- イ CO₂分圧 □□□.□ Torr
- ウ pH □.□□□
- エ 採血から分析までに時間を要した場合 □□時間□□分
- オ 耳朶血を用いた場合: []

6 その他の臨床所見

- ア 酸素療法の適用 有 (年 月 日導入、毎分 ℓ 吸入中) ・ 無
イ 人工呼吸器の常時使用 有 (年 月 日導入) ・ 無
ウ その他 (SpO₂値の推移等)

